

【テーマ5】子どもたちの健やかな体をはぐくみます

めざす方向

- ◆PDCA サイクルに基づく学校における体育活動の活性化や、地域・家庭におけるスポーツ活動に親しむ機会の充実により、児童・生徒の運動習慣をはぐくみます。
- ◆学校における食に関する指導や学校保健活動等を充実するとともに、地域や家庭と連携して子どもの生活習慣の定着を通じた健康づくりをすすめます

運動機会の充実による体づくり

| <今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）> | <何をどのような状態にするか（目標）> | <進捗状況（H30.3月末時点）> |
|--|---|--|
| <p>■体づくりに関するPDCAサイクルの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校での「体づくり推進計画」(*15)の策定を促進し、PDCAサイクル（※）に基づく体づくりの取組みを図ります。 ※計画による目標設定(P)⇒学校全体での取組み(D)⇒新体力テストによる検証(C)⇒成果事例の普及(A) <p>・体力テストの正しい測定方法を教員に理解してもらうため、希望する市町村に対し、小学校教員対象の新体力テスト測定研修会を実施します。また、大学、府立高校の職員や学生・生徒、大阪府教育庁の指導主事等が小学校で実施される新体力テスト測定に出向くなどして支援します。</p> | <p>◇成果指標（アウトカム）</p> <ul style="list-style-type: none"> * 平成29年度実施の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、以下の指標をめざします。 * 体力テストの5段階評価で下位ランク（D・E）の児童の割合を減らします。 （参考）平成28年度 小学校5年男子35.1%（全国29.7%） 小学校5年女子30.6%（全国23.7%） * 運動やスポーツをすることが好きな子どもの割合を増やします。 （参考）平成28年度 小学校5年男子 「好き」71.1%（全国73.0%） 「やや好き」20.9%（全国20.4%） 平成28年度 小学校5年女子 「好き」52.5%（全国56.7%） 「やや好き」32.0%（全国31.0%） * 体育授業以外で継続的に体力向上に取り組む公立小学校の割合を増やします。 * 「体づくり推進計画」を作成している学校の割合を増やします。 （参考）平成28年度 小学校 88.7% 中学校 77.1% | <ul style="list-style-type: none"> ○体づくりに関するPDCAサイクルの確立 ・小中学校における体づくりにかかる、PDCAサイクルの確立のため、「体づくり推進計画」の「ひな形」及び記入例を4月に市町村教育委員会に示した。 * 体力テストの5段階評価で下位ランクの児童の割合 平成29年度 小学校5年男子33.4%（全国28.9%） 小学校5年女子28.9%（全国23.1%） * 運動やスポーツをすることが好きな子どもの割合 平成29年度 小学校5年男子 「好き」71.7%（全国73.2%） 「やや好き」20.2%（全国20.1%） 平成29年度 小学校5年女子 「好き」52.6%（全国56.4%） 「やや好き」31.7%（全国30.9%） ・「学校における体育活動に係る取組み調査」を実施し、取組状況を把握するとともに、取組みが進んでない市町村に対して働きかけを行った。 * 体育授業以外で継続的に体力向上に取り組む公立小学校の割合 平成29年度 88.6% * 「体づくり推進計画」を作成している学校の割合 平成29年度 小学校 92.6% 中学校 82.2% |

■運動習慣の確立支援

*子どもの体力づくりサポート事業

- ・小学校7校の体育授業にプロスポーツ団体や体育専門の大学から外部指導者を派遣して直接実技指導を行うとともにトレーニングプログラム等を継続的に実践し、子どもの運動に対する意欲・関心を高めます。また、作成した実践事例集を活用し、学校における体力づくりの取組みをより良いものに改善できるよう教員対象の研修会を実施します。
- ・小学校27校でダンス関係団体等の指導者が直接指導をするなど、府内小・中学校で楽しく体を動かすことができる運動ツール「めっちゃスマイル体操」「めっちゃ WAKUWAKU ダンス」(*16)の活用を促進し、児童・生徒に運動習慣の確立を図ります。

- ・「全国体力・運動能力、運動習慣調査」の結果から、学校が体力向上の取組みを検証し、改善を図るよう周知した。
- ・府内68校の小学校に府指導主事が出向き、新体力テスト測定支援を行った。加えて、9校の府立高校及び4校の大学の教員や学生・生徒の協力を得て、測定支援や教員研修会を行った。
- ・市町村担当指導主事会において、新体力テスト測定支援から明らかになった課題を説明し、次年度に向けて調査の適切な実施のための説明会・実技講習会を実施するよう提案した。その結果、平成30年度は、37市町村で新体力テストの測定支援説明会又は実技講習会を実施すると回答があった。

○運動習慣の確立支援

- ・7市7小学校の体育授業にプロスポーツ団体や体育専門の大学から外部指導者を派遣した。派遣の事前、事後に実施した体力テストの比較では、7校全ての学校で記録が、向上した。
- ・教員が体力づくりの取組みや授業内容を改善できるよう、実践事例集を活用した実技研修会を実施した。

参加者数：148名（府内5カ所で実施）

- ・政令市を除く府内公立小学校の全ての教員に実践事例集を配付した。



配布部数：13,069冊

- ・「めっちゃスマイル体操」「めっちゃ WAKUWAKU ダンス」については、27市において、児童への直接指導や教員研修に、ダンス専門の指導者を派遣した。また、7・12月に小学校教員対象に実技研修会を実施した。

参加者数：122名

直接指導を受けた児童の意識の変化

| | 事前 | 事後 |
|-------------|-------|-------|
| 運動やスポーツ好き | 91.0% | 93.0% |
| 体育の授業が楽しい | 93.1% | 94.5% |
| 体を動かすことが楽しい | 92.0% | 93.4% |

| | | |
|---|---|--|
| <p>■ 体カづくりに向けた取組みへの支援</p> <p>* 子ども元気アッププロジェクト事業 </p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会（なわとび、駅伝）を開催し、府内小学校における体カづくりの取組みを支援します。また、「元気アップ新聞」を活用し、運動機会の重要性を家庭に発信します。 ・オリンピックによるスポーツ教室等を実施することにより、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催機運を活用し、子どもたちのスポーツへの興味関心を高めます。 <p> は、公私双方を対象とする取組み</p> | <p>* スポーツ大会（なわとび、駅伝）に昨年度を上回るチームのエントリーをめざします。 （参考）平成28年度 なわとび 37チーム 駅伝 71チーム</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・「めっちゃ WAKUWAKU ダンス」の成果発表を活用したイベントを大阪府内のイオンモール（9か所）で実施した。 参加児童数：約1,000人 観客数：約5,000人 ○ 体カづくりに向けた取組みへの支援 ・ジャンプアップ（なわとび）大会（11/25開催）には、11市町村から44チームがエントリーした。 ・駅伝大会には、20市町から72チームがエントリーした。 ・「元気アップ新聞」を府内公・私立小学校に3回配付した。 府内小学校：約1,000校 児童・教職員：約525,000名 ・「大阪ティーンズアスリートプレス」を府内公・私立中学校及び高等学校に3回配付した。 府内中学校・高等学校：約800校 生徒・教職員：約540,000名 ・今年度初めて開催したオリンピックによるスポーツ教室は体操、卓球、バドミントンの3つの競技のオリンピックを講師とし、参加児童は全ての種目を体験した。 参加児童数：131名 |
|---|---|--|

学校・家庭・地域の連携による生活習慣の定着を通じた健康づくり

| <今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）> | <何をどのような状態にするか（目標）> | <進捗状況（H30.3月末時点）> |
|--|--|---|
| <p>■ 食に関する指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食に関する指導の全体計画に基づいた食に関する指導が、確実に実践されるよう校内体制の整備を促進します。 | <p>◇ 成果指標（アウトカム）</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ * 平成29年度中に、「食に関する指導」の推進体制を整備した小・中学校の割合100%をめざします。 （参考）平成28年度 99.8% | <ul style="list-style-type: none"> ○ 食に関する指導の充実 ▶ ・市町村教育委員会に働きかけた結果、「食に関する指導」の推進体制を整備した小・中学校の割合は100%（1,447/1,447校）となった。 |

【部局長コメント（テーマ5 総評）】

自己評価

ほぼ達成

<取組状況の点検>

■ 運動機会の充実による体力づくり

当初の目標をほぼ達成することができました。

- ・「体力づくり推進計画」を作成している割合が、小学校で 3.9 ポイント上昇し 92.6%、中学校で 5.1 ポイント上昇し 82.2%となり、体力づくりに関する PDCA サイクルの確立を進めることができました。
- ・子どもの体力づくりサポート事業を実施し、指導者を派遣した 7 校全ての学校で体力テストの記録が向上しました。また、実践事例集を活用した実技研修に 148 名が参加しました。

- ・スポーツ大会（なわとび、駅伝）を開催し、府内小学校における体力づくりの取組みを支援するとともに、オリンピックによるスポーツ教室やイオンモールでのダンス発表会を実施し、子どもたちのスポーツへの興味関心を高めることができました。

■ 学校・家庭・地域の連携による生活習慣の定着を通じた健康づくり

- ・食に関する指導の充実については、当初の目標を達成することができました。

<今後の取組みの方向性>

■ 運動機会の充実による体力づくり

- ・小中学校が「体力づくり推進計画」を策定し、実施した取組みについて、検証・改善するなど、PDCA サイクルを確立させるとともに、体力づくりの取組みを推進するよう市町村を通じて支援します。
- ・府内 7ヶ所をモデル地区として、幼稚園や保育園、小学校にプロスポーツ団体や体育専門の大学から外部指導者を派遣し、幼児や小学校低学年に直接指導を行うことで、子どもの運動に対する意欲・関心を高めます。また、市町村教委の指導主事や校内で講師を務める教員を対象に、実践事例集を活用した研修会を実施し、授業力を向上させます。
- ・ジャンプアップ（なわとび）大会、駅伝大会を開催し、体力づくりの取組みを支援するとともに、「元気アップ新聞」を活用し、運動機会の重要性を家庭に発信します。また、オリンピックによるスポーツ教室やイオンモールでのダンス発表会を開催し、子どもたちのスポーツへの興味関心を高めます。

■ 学校・家庭・地域の連携による生活習慣の定着を通じた健康づくり

- ・食に関する指導の全体計画に基づいた指導が確実に実施されるよう、引き続き、小中学校に対し、支援をしていきます。